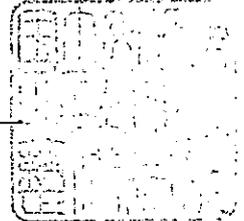


国北整企画第78号  
平成29年2月21日

福島県知事 内堀 雅雄 殿

国土交通省 北陸地方整備局長  
中神 陽



直轄事業の事業計画等（福島県関連分）〔予定〕について

平素から国土交通省直轄事業の推進にあたり、御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当局の平成29年度政府予算案における平成29年度事業計画等〔予定〕のうち、福島県関連分について別紙のとおりお知らせいたします。

(事業計画等は現時点における予定であり、今後の変更があり得ます。)

事務担当：企画部 企画課 企画第一係

平成29年度 福島県における事業計画(H29.2)(水管理・国土保全局関係)

対象科目	全体事業規模	全体事業費 (億円)	H28年度当初予算(百万円)		H28年度事業内容	H29年度事業内容	H29年度事業 進捗見込み (億円)	備考
			工事関係費	負担額				
河川事業			888.200	299.516				
河川改修費			775.000	258.333				
一般河川改修事業			775.000	258.333				
阿賀川	直轄管理区間 L=40.4km (阿賀川築堤・護岸・河道掘削)	135	775.000	258.333	長井地区 河道掘削V=14千m3、侵食対策L=50m 青津地区 浸透対策L=60m 宮古地区 築堤L=450m、用地A=0.2ha、補償1式 佐野目地区 用地A=0.3ha 等	長井地区 河道掘削、侵食対策(平成32年度完成予定) 青津地区 浸透対策(平成32年度完成予定) 宮古地区 築堤(平成30年度完成予定) 佐野目地区 築堤、附帯(平成29年度完成予定) 等	1.4~7.5	
総合水系環境整備事業費			20.700	10.350				
阿賀川水系	直轄管理区間 L=79.6km (水辺整備、自然再生)	阿賀野川水系 31 ※関連事業 を除いた額	20.700	10.350	モニタリング調査 1式 等	モニタリング調査 1式 (平成30年度完成予定) 等	- ~0.2	
河川工作物関連応急対策事業費			92.500	30.833				
阿賀川	直轄管理区間 L=40.4km 樋門樋管5箇所	-	92.500	30.833	三橋排水樋管開閉装置改善等	-	-	
砂防事業			616.163	205.387				
地すべり対策事業費			616.163	205.387				
滝坂地区	地すべり防止区域面積A=150ha	230	616.163	205.387	排水トンネル工、集水井工 等	排水トンネル工(平成33年度以降完成予定)、集水井工(平成33年度 以降完成予定) 等	4.7~7.7	
災害復旧事業			176.140	58.653				
河川等災害復旧費(河川 27災)			164.137	54.657				
阿賀川	北四合地区護岸L=170m 南四合地区護岸L=80m ノノ堰合地区護岸L=40m 大石地区護岸L=58m 上三寄南原地区水制L=18m	8.4	164.137	54.657	北四合地区護岸L=34m 南四合地区護岸L=16m ノノ堰合地区護岸L=8m 大石地区護岸L=12m 上三寄南原地区水制L=4m	-	-	
河川等災害復旧費(ダム 27災)			12.003	3.996				
阿賀野川大川ダム	流木V=4,350m3	1.5	12.003	3.996	大川ダム:流木処理V=653m3	-	-	
合計			1,680.503	563.556				

(注)「工事関係費」の欄については、負担基本額として当該県の負担対象となる工事関係費(ダム事業は公共費ベース)を記載しています。

個別事業の予算については、実施計画段階(予算成立後)で配分しており、事業内容、及び事業進捗見込みについては、今後大きく変動する可能性があります。

平成29年度 福島県における事業計画(H29年2月)(道路関係〔直轄〕)

改築事業(幹線道路ネットワーク整備)

(単位:百万円)

路線名	箇所名	事業規模	全体事業費 (億円)	H28年度当初		H28年度事業内容	H29年度予定事業内容	H29年度事業進捗見込み	備 考
				事業費	負担金				
国道289号	八十里越	L=11.8km	635	250	83	・調査設計 ・改良工、橋梁上部工	・調査設計 ・改良工	2~3億円程度	事業規模、全体事業費は、新潟県区間を含む 新潟県三条市塩野淵～福島県南会津郡只見町叶津 L=11.8km(2/2) 開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定
計				250	83				残事業費:約30億円

(注)合計は四捨五入の関係で合致していない場合がある

(注)H29年度予定事業内容のうち<>書きは、上限値に近い事業費を配分する場合に実施するものである

(注)備考欄の残事業費は、平成28年度補正投入時点である

(注)備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある

(注)今後、新規事業箇所を追加する場合がある